

# Governance —Anti-Corruption—

## Concept/Policy KWEグループコンプライアンス基本方針

KWEグループは、高い倫理観、責任をもって公正な企業行動を実践し、社会から信頼される企業グループを目指します。

1. KWEグループの役員および従業員は、コンプライアンスを遵守し、誠実かつ良識ある行動に努めます。
2. KWEグループは、経営判断および事業運営に当たりコンプライアンスを最優先します。
3. KWEグループは、コンプライアンス違反に対しては責任ある姿勢で臨み、原因を究明し再発を防止します。

## コンプライアンス体制

KWEグループリスク管理体制に準じた以下のコンプライアンス体制を構築しています。

- リスク管理統括責任者は、KWEグループにおけるコンプライアンス違反の未然防止ならびにコンプライアンス違反が発生した場合の対応の指揮を統括
- 本部長は、所管する関係会社のコンプライアンス体制を掌握し、本部におけるコンプライアンス違反の未然防止ならびにコンプライアンス違反が発生した場合の対応を指揮
- 本部長および海外関係会社社長は、以下のいずれかに該当する場合、リスク管理統括責任者に状況を報告し、その指示に従う。
  - (1) 社業に関して重大なコンプライアンス違反またはその疑いのある事象を認知した場合
  - (2) 決裁すべき案件につき、コンプライアンス面で是非の判定ができない場合
- 海外関係会社社長は、本部長の指導に基づき、当該関係会社において、「KWEグループ行動規範」および「KWEグループコンプライアンス基本方針」に則った適正な企業行動の推進を図る。

この体制のもと、昨今の各国法規制の域外適用の拡大や制裁金の高額化、サプライチェーン全体におけるコンプライアンス意識の高まりなど複雑・多様化、グローバル化する法的リスクに鑑み、弁護士資格を持つジェネラル・カウンセル職(以下GC)を2021年に、グループ・コンプライアンス担当者を2023年に任命しました。また、2024年4月に「KWEグループ倫理・コンプライアンス委員会」を新設し、常勤の取締役3名、執行役員1名で構成する「KWEグループ倫理・コンプライアンス上級会議」と、常勤取締役1名、執行役員4名で構成する「KWEグループ倫理・コンプライアンス会議」の2つの会議体で運営する同委員会を原則年2回開催しています。

これら一連の取組みにより、グループ全体としてのコンプライアンス/リスク対応とガバナンスのさらなる強化を進めています。

KWEグループリスク管理体制については右記をご参照ください。<https://www.kwe.com/jp/sustainability/risk/>

## コーポレート部門とGCの連携によるグループレベルでのコンプライアンス徹底

GCとの連携のもと、グループ・コンプライアンス担当者がコンプライアンス・倫理に関するアドバイスやグループ規程の策定、トレーニング等を行っているほか、コンプライアンス違反の報告を受けた調査等を実施しています。

### KWEグループ グローバル・コンプライアンス・トレーニング・プログラム(eラーニング)

実施スケジュール		コース
2022年	4月～6月	倫理および行動規範
	7月～9月	独占禁止法および競争法(基本)
	10月～12月	1. ワークプレイスハラスメント(従業員編) 2. ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン(管理者編)
2023年	1月～3月	グローバルな贈収賄および汚職防止(基本)
	4月～6月	職場内暴力といじめ
	7月～9月	利害の対立
	10月～12月	グローバルワークプレイスハラスメント(従業員編)
2024年	1月～3月	独占禁止法および競争法(上級)
	4月～6月	グローバルな贈収賄および汚職防止(上級)
	7月～9月	財務の健全性
	10月～12月	ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

## 内部通報制度の運用強化

従業員がより適切に通報・問題提起しやすい体制をグループ全体で統一的に構築するべく2023年5月に導入したグローバル内部通報システム(ホットライン)は、世界中の全従業員がアクセスでき、法律やグループポリシーの違反、その可能性への懸念等を表明することができます。言語や通報手段(ウェブサイト/電話/メール/ファクシミリ他)を問わず匿名での報告を可能とするなど、潜在的問題の早期発見や改善に向けて、懸念事項を共有しやすいシステムとしており、日々の運用を通して、コンプライアンス意識の維持・向上に寄与しています。

2023年度は、通報の処理方法に一貫性を持たせ、コンプライアンス項目をグループレベルで可視化すべく、各地域本部と協力のうえ、既存の各地域・法人のホットラインからグローバル・ホットラインへの置き換えを進めました。そのうえで2024年度より、運用促進に向けた社内周知等を起点に運営を本格化させています。

## コンプライアンス教育の拡充

コンプライアンスを徹底し内部通報制度が適切・有効に機能するためには、従業員の知識と理解が特に重要です。そのため、2022年4月よりグループ共通のコンプライアンス研修を実施しています。今後も教育環境の整備を進め、コンプライアンスや内部通報制度の内容について、グループ全従業員の理解度向上を図ります。

前述の統一されたグローバル・コンプライアンス・トレーニング・プログラムの土台の上に、例えば日本では別途階層別教育を実施、APLLではグローバルな贈収賄・汚職防止についてより双方向的かつ深い内容のウェビナーを展開するなど、グループ各社が必要性と事情に応じて独自のプログラムを加えることで、総体としてさらなる実効性向上を目指しています。

## コンプライアンス違反について

2024年度において、反競争的行為、反トラスト法違反、独占禁止法違反により法的措置を受けた事例はありませんでした。

### コンプライアンスとリスク管理の強化

当社グループは「KWEグループコンプライアンス基本方針」および「経営計画2027」のもと、サステナビリティや企業価値向上、社会やステークホルダーからの信頼の根幹を支える取組みとして、グローバルで統一したコンプライアンスへの取組みに注力しています。

その一環として、KWEグループ倫理・コンプライアンス委員会のもとで発足した「KWEグループ倫理・コンプライアンス上級会議」では、違反行為(内部通報含む)の状況の把握、調査、必要な是正措置の指示等を行っているほか、「KWEグループ倫理・コンプライアンス会議」ではコンプライアンスに関する基本方針、諸規程の立案・策定、違反行為を報告するためのプロセスの構築、違反行為(内部通報含む)の状況の把握、調査、是正措置の指示、上級会議への報告等を行っています。

私はこれら一連の会議体の運営に必要な調査や世界各拠点との連絡・調整、グローバル・コンプライアンス・トレーニング・プログラムの運営に従事する中、当社グループの事業拡大とステークホルダーの増加に伴い、コンプライアンス領域もますます多様化・拡大していることを実感しています。

こうした認識のもと、2024年からはグローバル・コンプライアンス・トレーニング・プログラムに「財務の健全性」を追加し、「財務健全性はすべての組織にとって重要であること」「正確な財務情報が重要である理由と正確さを確保する方法」「監査人との連携要件」等を理解・習得してもらうための研修を展開しました。

今後もグローバルでの幅広いコンプライアンス業務を通じて、当社グループの持続的な成長と企業価値向上に貢献していきます。



Head of Group Compliance  
Stephen Walton

Leader's VOICE